



# 宇津木台 森遊会 「定例活動」

## 第9回 実施報告

No.2011-09

|     |   |       |       |
|-----|---|-------|-------|
| 実施日 | 2012年2月26日(日) 10:00~15:30   | 天候：曇り | 記録：金森 |
| 場所  | 宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)   |       |       |
| 参加者 | 参加者：13名(男性9、女性4) 原田、諸岡、曾根、鈴木(健)、鈴木(響)、<br>衣川、平家、中田(直)、中田(美)、秋田、後藤、吉川、神宮<br>講師：武本氏(神奈川県森林インストラクター)、インストラクター：金森 |       |       |

### 実施内容

初年度全10回活動の第9回目。オリンパス技術開発センター宇津木従業員玄関に10時に集合。野鳥観察の資料を配布、双眼鏡を貸し出す。講師の武本さんを紹介、早速、鳥の祖先や特徴を講義。さらに、どんぐり工作の完成見本や材料を前に工作の準備にまつわる苦労や工作の方法を教わる。野鳥観察に出発、緑地に入り暫くは鳥を見かけなかったが、やがてカラの混群が現れ、オナガ、シジュウカラ、メジロなどが間近で見られた。どこからともなくガビチョウも大きく鳴き始めた。前回の活動で設置した巣箱のひとつに何か入っている可能性が高い。(穴から何か白っぽいものが出していたが、その後確認はできなかった)武本講師の説明を随時聞きながら緑地を散策する。緑地の中ほどにさしかかった時、カラスに追い払われるように猛禽が横切った、明らかにフクロウであった。その後、カラスに追われて住宅地へ逃げてゆく姿が確認できた。フクロウは大変な発見だ。昼食時に鈴木ご夫妻が準備されたおでんをいただく。この日は寒かったので温かさが身に沁みだ。午後は多摩川の土手にて水鳥を観察する。カワウが羽を乾かしている姿やオオバンの群れ、サギ、トビなどが見られた。フィールドスコープが威力を発揮、始めて見る鳥の拡大に歓声があがっていた。観察の途中、植生調査地のロープを強靱な針金に張り替え看板を設置した。また、竹林にもたけの子を採らないように看板を設置(市は了解済み)した。竹林の管理方法について金森から説明を行った。



武本講師による講義



カラの混群に出会う



巨大鍋でおでん



昼食の様子



多摩川で水鳥を観察



植生調査地の看板設置



竹林の看板設置



竹林管理方法の説明

### 連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は今回はなし。
- ・次回は、3月25日、間伐密度調査、植生調査地の観察、除伐作業を予定する。



どんぐり工作の完成見本